

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス C.win		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 2月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・利用児童共に支援の満足度が高いこと	職員同士で何でも情報共有ができるような雰囲気作りを大切にしています。職員同士の結束の強さが支援の満足度に繋がっていると思います。また、各支援員がそれぞれの分野(勉強、運動、療育など)で強みを持っていることも満足度の高さに繋がっていると思います。	今後も支援の満足度の高さを維持していくために職員同士の結束をより強めていきます。
2	情報共有や運営規程、支援プログラム、利用者負担等についての説明を十分に行うことによる開かれた事業所であること	契約時やモニタリング、担当者会議時に詳細に説明が行えるように事前に職員同士で情報共有を徹底しています。	これからも説明責任をきちんと果たしていけるように情報共有を徹底していきます。
3	創作活動・外活動・集団活動など様々なプログラムの充実	活動やプログラムが固定化しないように職員同士でよく話し合いの場を持ち活動・プログラムを決めています。また、様々なプログラムが立案できるように個々の支援員が情報を収集しています。	様々な活動・プログラムが展開していけるように情報収集を職員一同で行っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会の少なさ	地域の公園での遊びやイベントなどには積極的に参加しており、地域の子もたちとは交流する機会を設けているが、放課後児童クラブや児童館などと交流する機会が少なかった。	イベントに積極的に参加するだけでなく、こちらもイベントを企画して交流する機会を設けられるようにしていきたいです。具体的には定期的に発表会などを企画しているのでそういった企画を交流の場としていけたらなと思っています。
2	保護者同士の交流の機会の少なさ	自法人の高齢者施設での発表機会や、外部イベントに参加し発表機会を設けています。外部イベント参加の際には、一部の保護者に来てもらい保護者同士の交流ができたとは思いますが、全体での機会は実施していません。	児童による発表会などは企画・実施しているので、今後は保護者の方々にも参加できる発表会にしていきたい。
3	他の放課後等デイサービスや児童発達支援センター、協議会などとの連携の不足	研修等には積極的に参加しており、一方向的には関わりを作っているが連携という観点においては不足している	共同で何かを行えるようなイベントなどに積極的に参加していくとともにこちらも連携できるような取り組みを企画していきたい。